

新しく政治部長・選挙事務局長になった人が

読んでためになる選挙マニュアル

アフターコロナ時代の選挙活動

新しく政治部長・選挙事務局長になった人が

読んでためになる**選挙**マニュアル

— アフターコロナ時代の選挙活動 —

労働組合は組合員とその家族の幸福を求め、労使交渉や職場活動を展開しています。そして組織内では解決できない課題については、政治活動を通して解決を図っています。その重要な活動が組織内議員の擁立です。しかしながら、今日の状況は役員定数の削減や役員任期の短期化により中心となる運動員が減少しています。また、コロナ禍による生活と職場環境の変化で今までの活動はムリが生じています。

そこで今回は、新しく政治担当や選挙事務局長になった方が、何を準備し、いつ行うか、という最低限のノウハウと今日の傾向をまとめました。

今日の傾向には富士政治大学校・政治専科修了生からなる「高志会」の地方議員のみなさんにアンケートやサンプル提示のご協力いただきました。

また、政治専科講師であり、豊富な経験をお持ちの宮崎悠輔氏に情報提供並びに執筆のご尽力を賜りましたことも併せて記載します。

是非、今後の活動に生かしていただければ幸いです。

もくじ

| | |
|---------------------|----|
| 1. 出馬決定から開票日まで..... | 3 |
| 2. 戦略、戦術について..... | 4 |
| 3. 選挙区分析..... | 6 |
| 4. 戦略（戦い方）を決める..... | 9 |
| 5. 政治活動・後援会活動..... | 11 |
| 6. 選挙活動に向けて..... | 16 |
| 7. 名簿管理..... | 17 |
| 8. 立候補の手続き書類..... | 19 |
| 9. 各器材ポイント..... | 24 |
| 10. 選挙予算について..... | 28 |
| 11. 具体活動..... | 30 |
| 12. 役割と人数..... | 32 |
| 13. 投票日対策..... | 34 |
| 14. 開票対策..... | 34 |
| 15. 会計報告..... | 35 |

1. 出馬決定から開票日まで

出馬が決定したら、当選までに必要な事柄を同時並行して準備を進めていきます。大まかには「マスタープラン（戦略と戦術から策定）」を決め、「事務」と「得票につなげる活動」の両方を回していくことになります。まずは下の表から大まかな「選挙の流れ」を理解して、最初のステップである「マスタープラン」を作っていきます。

| | 期 間 | 政治・選挙 スケジュール | 労働組合関係 スケジュール | 準 備 品 何を準備する？ |
|-------|-------------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------|
| 準備確立期 | 告示 12ヶ月前 ～8ヶ月前 | 全体戦略 候補者確立 組織構想 | 組織内方針決定 候補者推薦決定 | マスタープラン |
| | 告示 8ヶ月前 ～6ヶ月前 | 支持基盤確立 後援会設置 | 上部団体確認 | 候補者プロフィール |
| 入会定着期 | 告示 6ヶ月前 ～4ヶ月前 | 後援会加入活動 政治活動の展開 | 組織内・外推薦決定 御礼挨拶 | パンフレット ポスター |
| 飛躍発展期 | 告示 4ヶ月前 ～2ヶ月前 | 定着活動 | 有権者対面活動 | 政策パンフレット |
| | 告示 2ヶ月前 ～1ヶ月前 | 選挙準備 | 選挙期間運動員の 確保 | 各種届出書類 運動器材 |
| 選挙運動期 | 選挙期間 | 選挙運動 | 期日前投票含め投票 促進 | 選挙器材 選管からの各種許可証 |
| フォロー期 | 投票日～1ヶ月 | 開票・報告活動 議員活動に向けた 準備 | 開票報告 会計報告 議員活動に向けた 準備 | 開票報告 会計報告書 |

(3) 支持基盤の確認

一般の有権者の中でどれだけ支持者がいるか確認しましょう。政策活動を通して支持者や、他の活動を通して労働組合以外の人間関係を築いている人もいます。

支持基盤が少ない方は、応援してくるような人はいないか、または支持者になる取っ掛かりがないかを考え、応援してくる方を1人でも増やしていきましょう。

支持者をつくる切り口となるものには次のような例があります。

- ・ 小学校から大学まで同年、先輩、後輩を問わず同じ学校の人
- ・ 趣味、地域活動などジャンルを問わず知り合いの人
- ・ 引退した議員からの後援会などの引継ぎなど

① 労働組合の支持基盤

産別や地域連合がどこまで支持をしてくれるのか、得票につながるのかを確認します。

② 労働組合有権者の変化

会社の状況変化や地域課題などによる組合員の政治ニーズの変化や組織ニーズの変化を確認します。

(4) 支援組織の状況

支援組織

連合・産別の状況

- (ア) 推薦してくれる組織
- (イ) 活動に参加・協力してくれる組織
- (ウ) 他候補支援組織
- (エ) 政治活動をしない組織

に分別する必要があります。

その分別に基づき、選対組織、選挙活動、票読みにつなげます。

5. 政治活動・後援会活動

選挙戦の前に行う活動として、政治活動があります。政治活動では自身の政策を訴えることで一般の方へ周知をしたり、仲間を集めることも出来ます。

また、組織として、後援会（支持者を増やしたり、支援者の集まりの組織となる）とボランティアグループ（政治活動をお手伝いして下さる方）は別組織で運営してもよいので、各応援者が動きやすい、効力のある組織を運営していきましょう（実際の問題として、後援会などの組織とは合わない、個人で応援したいという方は意外といらっしゃいます。そうした方を無理に後援会に入れるのではなく、お手伝いをしてくれる方ということで、面倒見の良い方に統括して活動してもらおうという方法もあります）。

（1）後援会活動として必要な役割と活動内容

① 後援会会長

会のトップになります。後援会長は会の結束を図る、仲間を集めるといった役割を担います。一番に会を円滑に機能させていくことが求められますので、そうした人間性を持った方をお願いすることが最適となります。

② 事務局長

文字通り事務や庶務について優れた方が良く、組織内で会長に次ぐ役割ですので人柄についても良い人が望まれます。

③ 事務員

事務などに秀でた方をお願いしましょう。

④ 会計担当

会計など数字を扱うことに多少慣れた方をお願いしましょう。

⑤ 街宣要員

街頭でのビラ撒きを行ってくれる方になります。

⑥ ポスティング要員

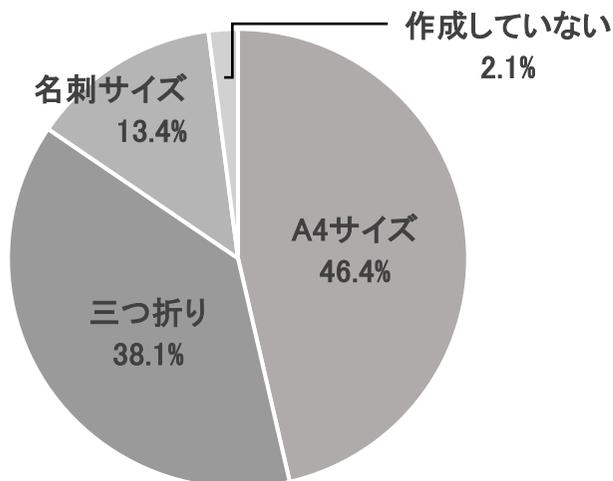
選挙区内のポスティングを行ってくれる方になります。

② ビラ

後援会活動などを簡潔にまとめた後援会ニュースを送り活動への参加や仲間意識を生むものを用意できると望ましいです。さらに活動への感謝や活動への参加をお願いする文書などを添付することもできます。

その他、政策報告用のビラを作成し、駅頭や集会、ポスティングなどで配布し、広く有権者に呼びかけます。

【高志会アンケート2】ビラのスタイル



③ 名刺

常に名刺は用意し携帯しましょう。白地に文字だけの公務などで利用するもの以外に、顔や名前が目立ち、SNS や活動などを紹介する QR コードなどを入れて、活動に参加する人を積極的に募りましょう。

訪問時の留守宅に名刺をポスティングしておくことも有効な手段です。

○ **手話通訳者 1 人に対し支給することができる報酬の額**

1 日につき 15,000 円

○ **要約筆記者 1 人に対し支給することができる報酬の額**

1 日につき 15,000 円

※報酬を支給することができる選挙運動員は、選挙事務員、車上運動員、手話通訳者及び要約筆記者を合わせて、1 日あたりの員数と選挙期間を通じた異なる者の総数に制限があります（下記参照）。報酬を支給できるのは、あらかじめ文書（報酬を支給する者の届出書）で、当該選挙管理委員会に届け出た者に限られます。

【1 日あたりの員数】

都道府県議会議員選挙 12 人（選挙期間を通じて総数 60 人）

指定都市議会議員選挙 12 人（選挙期間を通じて総数 60 人）

市議会議員選挙 9 人（選挙期間を通じて総数 45 人）

町村議会議員選挙 7 人（選挙期間を通じて総数 35 人）

※上記は 2024 年現在の資料をもとに記載しています。金額などは変更などがあるため、実際の選挙では必ず事前説明会の資料をもとにしてください。

（４）領収書の処理

選挙後の会計報告書に添付が必要なため、領収書は回収してください。

（５）事前活動でどのくらいかかるのか

基本的に組織の運営費（事務所賃料などを含め）に、政治活動として行う、ビラの印刷費や配布費用、メディアへの掲載料、街宣活動費の合計だと考えてください。